タイトル：高野三山ビューポイント

摩尼山、楊柳山、転軸山という3つの聖山は、まとめて高野三山と呼ばれています。弘法大師(774-835)が永遠に瞑想をしている聖域である、奥之院の北の境界辺りに弧を描くようにそびえています。真言宗の信仰によると、三山は弘法大師御廟の番をして、危害から守っています。

高野山に面した山腹は、金剛峯寺や高野山内の寺院が管理し、この聖山の独特な原生林を保護しています。この森は本州北部の在来種と温帯系の二次林が並んで自然に生息している、日本では珍しい場所の1つです。

摩尼山、楊柳山、転軸山の3つの聖山は、女人道沿いの多くの場所から見ることができます。数世紀に渡って、巡礼者や旅人は、早春の鮮やかな新緑から秋の燃えるような紅葉、冬の雪まで、四季を通じて美しい山々を楽しんできました。現在、高野三山コースを歩く登山者は、高野山の原生林を通って聖山を登りながら、神聖な足跡をたどることができます。